

CONTENTS

- 2 岐阜テロワール アカデミー 事業継承・引継ぎセンター
- 3 経営者の「モヤモヤ」相談室
- 4 未来を応援 / 小規模企業共済

第749号

令和8年 3月1日発行
(毎月1日発行 発行部数18,900部)

元気企業紹介

創業50年 地域に愛され 続ける伝統の味を未来へ

としちゃん

当店の始まりは、昭和50年に私の義父が名古屋で創業した飲食店です。創業から3年ほど経った頃、義父の地元である益田郡小坂町（現在の下呂市小坂町）へ戻り、新たに開店したのが当店「としちゃん」です。



▲店舗外観

地域の人に愛される老舗食堂と名物料理の「としちゃん」

当店では朝はモーニングを提供しており、地域の高齢のお客様が集う憩いの場として親しまれています。昼時には、看板メニューである「としちゃん（豚バラ肉をキャベツなどの野菜と一緒に焼く料理）」を目標として、地域の方だけでなくトラック運転手や観光客など様々なお客様が来店されます。14年前に義父が他界し、義母とパート社員1名で店を守ってきました。私は「この味を次



▲モーニング



▲名物料理「としちゃん」

の世代へ残したい」との思いから、昨年、前職を退職し後継者として本格的に従事するようになりました。

商工会支援を活用した取組

実際に従事するようになって、レジが古くレジ締め作業に多くの時間がかかっていることや、店舗は平成元年に改装して以降ほとんど手を入れておらずお客様が不便を感じていることなど、様々な問題があることが分かりました。そのような折、商工会から補助金の案内があり相談したところ、業務の効率化と売上の拡大を図るための提案を受けました。そこで、商工会の支援を受けながら、下呂市中小企業持続化支援事業補助金を活用したレジスターと座敷椅子の導入、小規模事業者持続化補助金（第17回）を活用したトイレの改装を行いました。また、観光客の集客を図るため、商工会主催のInstagram活用セミナーにも参加し、投稿内容の改善にも取り組みました。

これらの取り組みにより、業務負担の軽減と店内環境の向上が図られ、集客力と顧客満足度の向上につながりました。

今後の事業展開

個人店の後継者という立場になり、様々なことを考えるようになりましたが、商工会の職員の方が親身に相談のってくれたことで、前向きに事業に向き合うことができるようになりました。

当店のある小坂町では、近年、飲食店が減っています。このような厳しい環境の中でも、伝統の味を守り続け、地域のお客様が気軽に集える憩いの場として、また観光の目的となる食堂として、多くのお客様にご利用いただける店を目指していきます。そして、この店を次の世代へと引き継いでいけるよう、今後も努力を重ねていきます。

(所属 小坂町商工会)



▲代表者のユミ子さん(左)と後継者の栄子さん

としちゃん

代表者 今井 ユミ子

▲ 下呂市小坂町門坂506-1
0576-621-3567

7時~16時

※水曜日は14時30分で終了

毎週月曜日

その他、月に一度日曜日もお休みします

詳細はInstagramからご確認ください



TOSHICHANSHOKUDOU
Instagram



～販路開拓基礎力育成事業～
「岐阜テロワール アカデミー」が、
 県内の食品事業者を対象に、昨年夏頃から
 1月にかけて実施されました

本事業は、今年度、新たに企画した事業で、商品を事業者が目指す「売場にフィットさせる」ための商品開発・改良を支援するプログラムです。参加事業者は、最初に商品改良前の段階で大野屋商店(武蔵小杉東急スクエア店)にてテスト販売を実施し、課題を明確化しました。その後、約4カ月かけて基礎整備・商品改良を行い、2回目のテスト販売に臨み、商品改良の結果を検証しました。

今年度は、12事業者が参加し、うち2事業者の商品が大野屋商店のバイヤーより「採用」評価を得ました。その他の事業者も、食品表示、原価計算、JANコード取得といった基礎整備に加え、パッケージ、レシピ、価格、内容量等を見直し、それぞれの段階や課題に応じた商品改良に取り組みました。

令和8年度も、本格的な販路開拓に向けて、基礎から商品開発や商品改良に取り組みたい事業者のご参加をお待ちしております。



バイヤーによる評価



テスト販売

●参加事業者 (敬称略)

- ・チクマ養蜂 (本業市商工会)
- ・株式会社 B2A (北方町商工会)
- ・有限会社幸山 (関ヶ原町商工会)
- ・KAOMI (川辺町商工会)
- ・KT 農夢 (川辺町商工会)
- ・カフェめんどりや (川辺町商工会)
- ・株式会社アヤクモ (川辺町商工会)
- ・小田巻や鈴木酒店 (川辺町商工会)
- ・株式会社 Sunpo (白川町商工会)
- ・有限会社白川町農業開発 (白川町商工会)
- ・株式会社藤よし (御嵩町商工会)
- ・株式会社クリエイティブファーマーズ (恵那市恵南商工会)



あなたの**事業承継**を
サポートいたします!!

岐阜県事業承継・引継ぎ支援センターでは、事業承継でお困りの皆様のご相談に無料で応じています。国から委託を受けた公的な機関ですので、安心してご利用いただけます。

相談無料 **秘密厳守**

こんなお悩みありませんか？

- 現在の事業を子供や従業員に継がせたいがどのようにしたらよいか
- 会社や事業を第三者に譲りたいので相手を探してほしい

- 創業や事業を拡大したいがどうしたらよいか
- 事業承継の具体的な手順を教えてください

このようなお悩みに対し、きめ細かな支援を行っています。どうぞお気軽にご相談ください。



WEBサイトはコチラから

岐阜県 事業承継・引継ぎ支援センター

〒500-8727 岐阜市神田町2-2 岐阜商工会議所3F
 TEL 058-214-2940 FAX 058-214-2941
 MAIL gifu-hikitugi@gshc.go.jp URL https://www.gshc.go.jp



経営者の 「モヤモヤ」相談室

藤井先生には、全12回シリーズで会員事業者様のための経営に役立つ情報をトピックスとして、連載していただきます。

第11回

「人材とAI」で生産性向上?

どちらも育成・法律が大切

人材活用ガイドライン、AI事業者ガイドライン

株式会社ACC

中小企業診断士 藤井 健太郎



「人材やAIを活用して生産性向上を」と言われるものの、人材面では「採用できない・定着しない・賃上げには限界がある」、AIについては「よく分からない・使いこなせない」といった声が多いのが現実です。実際に人材やAIといった個別テーマに取り組むだけでは、本来の目的である生産性向上につながらないケースが少なくありません。

●なぜ今、生産性向上なのか?

背景には、物価・賃金の上昇、働き方改革、少子高齢化などがあります。コストが増え、労働時間や労働人口が減少する中で、収益を維持・拡大するにはどうしたらよいのでしょうか?

対策の一つは以前お伝えした価格転嫁ですが、顧客離れのリスクも伴います。続いてコスト削減ですが、今回は「少ない人数で同じ成果を出す」観点からお伝えします。

もし最近、人手が減ってしまった・あるいは人手不足が続いている場合は、急いで採用活動をするのではなく「生産性向上に取り組むチャンス」と捉える発想も大切です。なぜなら「少ない人数で同じ成果を出す」が実現してから人数を減らすことは、日本の労働法制ではかなり難しいからです。

●人材活用：育成の前に「モチベーション」を

人材への報酬は給料だけでなく、「やりがい(=モチベーション)」など非金銭的要素も大きな意味を持ちます。そのために有効なのが、ミッション・ビジョン・バリュー(MVV)の社内共有です。

ある食品製造業では、ローカルベンチマークや経営デザインシートを活用してSDGsも含めたMVV・経営計画を策定し、全社員に発表しました。その結果「このやり方は食品ロスを減らすため(目標12)だったんですね」「今度の新製品はこうやってお客様に喜んでいただけるんですね」などと社員のモチベーションが上がり、仕事の工夫や意見交換が活発化しました。

このような土台があつてこそ、生産性向上に向

けた社員育成や業務改善などが進みやすくなるのです。

●AI活用：身近なツールから

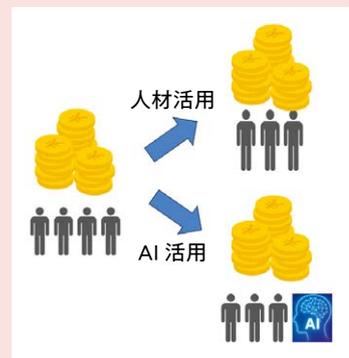
AI活用は、まず身近なスマホから始めるのがおすすめです。Geminiなどに自分の得意分野で質問すると、「スゴイ!」と思ったり、聞き方によって回答が変わったり、ウソを言われたりと、AIの強みや限界を実感できます。そのうえでAIの活用法を考えましょう。

ある小売業では、ECサイト「BASE」の商品説明文AI作成機能を活用しています。これを下書きとして、経営者の想いやお客様が得る価値を加えて仕上げることで、大幅な時間短縮になっています。

ただし、AI活用には注意点もあります。機密情報や営業秘密を入力しないこと、著作権など知的財産権を侵害しないこと、などです。

また、近年増えているサイバー攻撃について、そもそもの情報の扱い方から経営者が体得したうえで社員を育成することで、自社全体の情報セキュリティ対策力も向上します。そういう意味でAI活用は一石二鳥になり得ます。

上記に加え、中小企業庁「人材活用ガイドライン」や総務省・経済産業省「AI事業者ガイドライン」を参考に取組むと、さらに効果が増すでしょう。まずは商工会に相談し、早めにサポートを受けることで、「生産性向上」の生産性が向上するでしょう(笑)



次回はいよいよ最終回、【補助金の「メリット」
「デメリット」】です。お楽しみに!



未来を応援 株式会社 B2A

事業拡大に向けた第一歩を 後押しする伴走支援

■法人成りまでの支援

担担麺専門店「koku」は2018年に北方町で創業され、自家製五香辣油や本場四川省の漢源花椒を使用した本格的な担担麺が人気のお店です。2023年には、香辛料を活かした調理ノウハウを活用し、本巢市でカフェ「mille-cha」を開業。

商工会では、両店とも創業当初から記帳・広告宣伝・従業員雇用など幅広い相談に対応してきました。「koku」の認知拡大に向けては雑誌広告の活用として、国の「第11回小規模事業者持続化補助金」を提案。また、「mille-cha」開業時には国の「第5回事業再構築補助金」の活用を提案し、それぞれ採択後の実行まで伴走支援しました。

その結果、「koku」ではラーメン専門誌などメディアを通じて新規顧客を獲得し、「mille-cha」ではワークショップの開催や異業種とのコラボイベントにより認知度向上を実現。両店舗ともリピーターを増やし順調に事業を拡大されたことから、2025年1月に株式会社B2Aを設立されました。

■新商品の開発と販路支援

新たな売上獲得と、「自宅でも美味しい本格的な担担麺を食べてもらいたい」との思いから、代表の弟で取締役の片岡友佑氏が冷凍担担麺を開発されました。



岐阜テロワールアカデミーの様子

「商品は完成したものの、パッケージや販売チャネルをどのようにすべきか悩んでいる」と相談を受け、岐阜県商工会連合会主催の岐阜テロワールアカデミー受

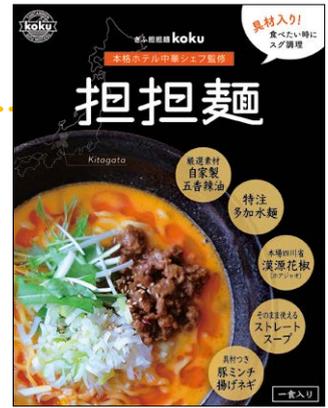
講を提案しました。

岐阜テロワールアカデミーでは関東のスーパーで担担麺の試食提供を行い、一般消費者や食品バイヤーから率直な意見や感想をヒアリング。専門家の助言も踏まえながら改良を重ね、「koku冷凍担担麺DIY」が完成しました。

店頭での販売を開始した後、販路拡大のためEC販売を検討されましたが、サイト管理や発送業務への不安があるとの相談を受けたため、まずは北方町のふるさと納税返礼品への登録を提案し、商工会が事業者と北方町役場との調整役を担いました。

■成果と今後の展開

2025年12月26日に「koku冷凍担担麺DIY」は北方町のふるさと納税返礼品として正式に登録され、すでに注文も入り始めています。株式会社B2Aが事業拡大に向けた確かな第一歩を踏み出せたと感じています。商工会では、今後も事業者の挑戦に寄り添う伴走支援を実施していきます。（北方町商工会）



担担麺のパッケージ



代表の日紫喜あかねさんと担担麺

株式会社 B2A

代表取締役 日紫喜 あかね
 本巢郡北方町高屋伊勢田2-13
 058-325-8589

ぎふ担担麺 koku



Mille-cha

小規模企業共済

経営者のための積み立て式退職金制度

POINT 1 将来の生活安定資金に
小規模企業者が、引退後の生活安定資金を積み立てる制度

POINT 2 無理なく積み立て
掛金月額額は1,000円から設定でき、途中で掛金の増額・減額が可能

POINT 3 今の経営のサポートにも
掛金は全額所得控除、また共済契約者貸付で事業資金等の借入れも可能

個人事業主・フリーランス

小規模企業等の経営者・役員

個人事業の共同経営者

オンラインで加入申込受け付け中

くわしくはウェブサイトをご覧ください。

小規模企業共済

検索



この商工ニュースは
 県の補助金を受けています。

発行所・発行人／岐阜県商工会連合会 岐阜市藪田南5丁目14の53 OKBふれあい会館9F
 TEL (058) 277-1068(代) FAX (058) 274-7655 URL https://www.gifushoko.or.jp/

